

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

新たな本と出会う企画

図書貸出 **福袋**

1月7日～
先着70袋



1月 図書館カレンダー

2025 年 January		日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31			

令和7年 新春 図書館 **福袋** のご案内

図書館員が各世代の方におすすめの本を福袋にしました。どんな本が入っているかは借りてからの楽しみ！1年の始まりに、新たな本と出会ってみませんか？

- ▶ **日時**：1月7日 午前9時 ～ 無くなり次第終了
- ▶ **場所**：図書館本館（霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）内）
- ▶ **対象**：図書館利用カードをお持ちの方（当日作成可）
- ▶ **数量**：全70袋（1袋3冊入り）
 - 幼児（0歳から就学前向け）10袋
 - 小学生向け30袋（低学年、中学年、高学年向け各10袋）
 - YA（中・高校生向け）10袋
 - 大人向け20袋
- ▶ **ご確認ください**
 - ・お一人様1袋 ・貸出期間は2週間
 - ・今借りている本の冊数をご確認のうえ貸出手続きをお願いします。
 - ・福袋の貸し出しはカウンターにお声かけください。（自動貸出機不可）
 - ・読了後は通常通り本のみをご返却ください。

■ **休館日**：月曜日（祝日の場合はその翌日）、
月末図書整理日

○ **お話し会**：1月11日 午前10時30分から

ホームページでは、利用案内や図書検索
など図書館の情報を掲載しています▶

問 図書館 ☎ 029-897-0647



図書館ボランティアのご案内

- 「石のスープの会」は、毎週第2土曜日にお話し会を開催しています。
- 「つくしんぼ」は、児童クラブ・保育所などへ読み聞かせを行っています。
- 「読書会」「ひばりの会」「朗読ボランティア - せせらぎ」が活発に活動しています。会員募集中です。

文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会		冬麗や筑波二峰の陰長し	揺れつつも皇帝グリア凜と咲く	晩年や本と旅する秋の夜	冬の星何もなくすぎ今日もすぎ	劃然と神双峰に冬の空	生垣の山茶花の紅咲き乱れ	紫陽花俳句会	小春日に誘ひ出されし蝶遊ぶ	木の葉枯れ寂しく庭も冬仕度	朝霜に寝ぐら求めて鳥つどふ	寒き日も皇帝グリア君臨す	出島短歌会	夢多き若きあの日はどこへやら今に思えば何も掴めず	秋日和母の介護の日々なればバンジーの苗庭に植えおり	夏草の繁れるままの畑主を見舞う友あり故郷はよきかな	ゆうぐれの街の雑踏ひとときを霧のながれてうす虹の見ゆ	投稿作品	妻逝きてこれから一人生きてゆくいろあるがなんとかなるさ	冬枯れの野辺に咲きたる黄菊あり歩みを止めてしばし見つめる	枯蓮田つがいの白鷺えさを食む畦のつばなは白穂を揺らす	たくさんさんの感謝胸に抱き今年終え平和願い吹け虹色の風	紅葉に登りし遙かな蝦夷富士よ今夜は雪か風は強い	ひつじ田に白きボールの置き土産	仲冬の朝対岸の白富士目に収める	供華の菊とりどり薫る墓地に蝶	大掃除アルバム囲んで反省会	御神籤は中の上なり胡椒餅
今井守	大西周	加藤貞江	北原千恵子	神原清志	桜井愛子	久保庭悦子	島田和子	原田佳世子	福田宏通	名倉親子	仲谷香代子	華師寺玲子	岡田恭子	矢口哲雄	石塚清	沽野はつ子	齋藤翔子	中島良平	竹村啓子	高野新一	釈一浄	中村耕二	兼西清治					

投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。1月7日 〆までに秘書広報課（〒315-8512 上土田461）へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。

WEBで投稿
できます



筑波山塊の粘土

筑波山塊を形作る花崗岩は、風化することで粘土になることが知られています。そのため、周辺地域では、この粘土を使用してさまざまな焼き物が作られてきました。縄文土器に始まる日常生活に必要な器類はもちろん、建築材としても古くは寺院の屋根瓦、近代以降には民家の屋根瓦などが生産されるようになりました。

新しい焼き物「つくば焼」

市内出身・在住の陶芸家である都賀俊雄さんは、市内で採掘される粘土を使用してこれまでにない新しい焼き物「つくば焼」を制作しました。「つくば焼」の定義は「筑波山系の山々を形作る鉱物を起源とした粘土を用いて高温焼成した素地と、真空容器の中で放電を起こしてプ



「つくば焼」の作品

ラズマを発生させ、そこにさまざまな金属を高温で蒸発させてその金属粒子をイオンにして加速し、真空容器内にセットされた陶芸作品の表面に結晶を形成する処理法を施して制作された器」と説明されています。歴史的に人との関わりが古い粘土を用いながらも、科学的な手法を施した点が非常に革新的です。「つくば焼」の最大の特徴は、まるで虹やオーロラのような、その発色にあります。光の加減や見る角度によっても表情を変える、神秘的な焼き物です。

「つくば焼」の企画展を開催

歴史博物館では、陶芸家都賀俊雄さんと「つくば焼」の企画展を令和7年1月11日 国から3月23日 〆まで開催します。ぜひ、ご来館いただき「つくば焼」の神秘的な輝きを目の当たりにしてください。また、筑波山塊の粘土産業や「つくば焼」の秘密に触れる関連イベントなども実施しますので、併せてご参加ください。問 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



美術 (陶芸) つくばとしお 都賀俊雄さん

昭和14年、本市生まれ在住の陶芸家。昭和48年に美術教師を退職し、陶芸の道に入る。

湖山の匠登録者

詳細はこちら▶



総合型地域スポーツクラブスタッフのコラム / KSC なかよしクラブ 松庫義弘さん寄稿

スポーツで『地域』を元気に

なかよしクラブとの出会い ～ 佐藤さん家族 ～

今回は、なかよしクラブを子育ての一環として活用した佐藤さん家族をご紹介します。

佐藤さん家族（父、母、息子2人の4人家族）は、約10年前にかすみがうら市に引っ越してきました。当時、引っ越し先の選定では特に地域でどのような活動が活発に行われているかを考慮したそうで、その過程で「なかよしクラブ」が目にとまり、転入後は家族で入会しました。

入会時、長男は小学4年生、次男が1年生で、長男はバドミントン（スポーツ広場事業）に興味を持ち基礎から教わるようになり、次男はバドミントンやスポーツ鬼ごっこの体験をしながら、なかよしクラブで用意した「子ども広場」で面倒見の良いスタッフとおもちゃなどで遊びました。母親は、学生時代にバドミントン部に所属していたので、長男と

一緒に競技を楽しむなど、家族で充実した時間を過ごしていました。その後、長男は中学の部活動で通うことが難しくなり、子どもたちは「なかよしクラブ」を卒業しましたが、体を動かす楽しさを知るきっかけになったことでしょう。実際に長男は現在大学でヨット部、次男は高校でバスケットボール部に所属し活躍しています。そして、佐藤さん夫婦も引き続きバドミントンを楽しんでいます。

このように子育てに「なかよしクラブ」を活用することで、スポーツの楽しさを知り家族の絆を深めることができます。「なかよしクラブ」ではさまざまな種目を体験できる他、地域の人達との交流もできますので、ぜひ一緒にスポーツを楽しみませんか。



「総合型地域
スポーツクラブ」に
参加しませんか？

種目 スポーツ広場、硬式テニス、太極拳、ピンポン、フットサル、よさこいソーラン、軽音楽、社交ダンス、ウォーキング、グラウンド・ゴルフ、英会話広場、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ吹矢



▲詳細

連絡先 KSC なかよしクラブ ☎ 090-2417-8502（大和）
KSC エンジョイスports ☎ 090-2420-7846（高田）